

# NEWS

## 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー [現業管理コース・営業コース] 報告

(公社)全国産業廃棄物連合会主催による平成29年度産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー愛知会場(現業管理コース/10月16日(月)・17日(火)、営業コース/11月1日(水)・2日(木))が吹上ホール(名古屋市千種区)会議室において開催されました

### ■現業管理コース

処理(リサイクルを含む)、設備整備、安全管理等に関する基本的な知識を網羅し、その上で柔軟かつ迅速な操業管理・進捗調整を実施・検証できる能力を養成する目的で21名が参加し、5名1グループに分かれグループワーク形式で行われました。

始めに参加者一人ひとりの自己紹介が行われ、講義では操業管理、設備保全基礎、原価管理基礎や人、設備、費用など安定的に運用する仕組みを理解し、利益を創出する現業管理、設備保全の重要性を学びました。続いて各自が自社の特徴・施設のプロフィールを作成し自己紹介をしました。

午後から安全衛生管理概論を学び、自社施設における安全風土づくりのポイントの明確化についてグループワークが行われました。



講演する(一社)愛産協  
中野常務理事

業界を取巻く最新情報の講義の後、当協会常務理事 中野兼司氏/(株)東伸サービス代表取締役による「産業廃棄物処理事業の経営戦略と社員への期待」と題した講義が行われ、企業としての「成長」と「底上げ」に向けた事業戦略、人材育成と産廃処理業界育成の課題等について講義されました。産廃処理業界全体で「社会的評価向上」を目指し、社会に必要な業界であるということに皆さんが誇りを持つ事が大切だと締められました。

2日目はグループワークで課題から迅速な操業を行うポイントと対策を提案し、質疑応答、全体ディスカッション、講師の講評が行われ、出席者全員に修了証が交付されました。

### ■営業コース

産業廃棄物処理に係る自社の廃棄物処理の流れを法的な裏付けとともに説明ができ、顧客の事業内容や業務構造を理解した上で、的確な提案を行う能力を養成する目的で28名が参加し、5名1グループに分かれグループワーク形式で行われました。

始めに参加者一人ひとりの自己紹介が行われ、営業社員の基本的役割について講義があり、各自が自社事業のプロフィールによる自己紹介と自社施設の特徴の発表とそれに対する講師のコメントがありました。

午後からはグループワークで顧客情報管理シートを作成、発表し講評を受けました。続いて(公社)全産連専務理事 森谷 賢氏により業界を取り巻く最新動向についての講義がありました。



講演する(公社)全産連  
森谷専務理事

当協会中野常務理事による「産業廃棄物処理事業の経営戦略と社員への期待」と題した講義が行われ、産業廃棄物処理業界の明日を担う参加者への期待とエールが送られました。

2日目は顧客の理解を図るための分析プロセスと着眼点研究成果の共有についてグループ討議が行われ、提案書にまとめられ発表されました。質疑応答、全体ディスカッション、講師の講評が行われ、出席者全員に修了証が交付されました。

